

2,170 kmが、 "当たり前"を支える



[特集]

長岡

下水道

2,170 km——北海道から沖縄までの距離と同じ長さの下水道管が、市内の地下に張り巡らされています。

私たちが毎日当然のように使うお風呂、トイレ、台所などで出る汚れた水は、下水道がきれいにしています。雨が降ったら地面に水があふれないよう、雨水を流したり貯めたりしています。

人目に触れず、目立たず。それでも、私たちの快適な暮らしを守っている下水道。昔も今も、そして未来も、「先駆者」として挑戦を続ける長岡の下水道を紹介します。

下水道課 ☎ 39・2235

NAGAOKA News

市政の最近のできごとを紹介します。



伝える、夢へのメッセージ

開府400年を記念し、休日開催となった米百俵デー市民の集いに約600人が参加。書家・金澤翔子さんの「席上揮毫」の披露や柔道家・古賀稔彦さんの講演会などを開催し、「夢」を持つ素晴らしさを伝えました。(6月16日)



市立図書館、開館100周年

市立図書館が開館して100年の今年、1年間を通し記念イベントを行っています。中央図書館での式典では、磯田市長が「次の100年に向け、新しい時代をつくる人材を生み出す図書館にしていきましょう」と呼び掛けました。(6月8日)



県内で唯一！学生消防隊に新しい仲間

大学生や専門学校生で組織する「学生消防隊」に21人が加わりました。学生の時から消防活動に携わることで、将来、地域の防災リーダーとなることが期待されます。今後は広報活動や応急手当て講習の指導に取り組みます。(6月2日)



大雨に備え、防災体制を確認

梅雨時期を前に毎年行っている防災対策説明会に、長岡地域の町内会長や民生委員、消防団幹部など約600人が出席。大雨の時期に備え、災害時の市の防災体制や避難情報発令時の対応、地域の役割などを確認しました。(5月24日)



新製品開発のノウハウを伝える

「長岡市ものづくり未来支援補助金」などを利用した市内企業が、開発成果を報告。設計時のアイデア出しのポイントや試作での試行錯誤の経緯などの秘話が語られ、参加者は自社の開発に活かそうと熱心に聞いていました。(5月29日)



「デザイン思考」で政策をつくる

市の部局長を対象に、イノベーションを生み出す創造的な方法論「デザイン思考」の研修会を開催。長岡造形大学・河村正美副理事長から、「共感」による行政課題や潜在的なニーズの発見を通じた政策づくりを学びました。(5月23日)